

宮城県美術館における DX を活用した取組について

宮城県美術館では、これまでも所蔵作品のデジタル化に取り組んできており、昨年度は、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、高精細デジタル画像技術を用いたデータ等の作成を行いました。

多くの県民の皆様へ美術作品の新たな鑑賞や体験の提供につながるよう、本取組のPRに御協力賜りますようお願いいたします。

1 実施した内容

- (1) 美術館所蔵作品の高精細デジタル画像データの作成（30作品）
- (2) 高精細デジタル画像データを用いたレプリカ作成（(1)の内20作品）
- (3) フローティングギガビューワー※の制作（(1)の内10作品鑑賞可）

※モニターの手前に浮かび上がる画面を操作することで、作品を拡大し、細部まで鮮明な画像を楽しむことができるもの。



フローティングギガビューワー



拡大した作品の様子

2 今後の利活用

- (1) 高精細デジタル画像データを活用した画像を宮城県美術館ホームページに掲載
- (2) 県内施設においてフローティングギガビューワーやレプリカの設置・展示
- (3) 学校等で行う鑑賞活動やワークショップなど教育普及活動で活用
- (4) リニューアル後の美術館で高精細デジタル画像が鑑賞可能
- (5) 整備の検討を進めている新県民会館での有効活用

3 取材申込

美術館に取材を希望される場合は、所属、氏名、連絡先を令和5年6月13日（火）午後4時まで美術館へ電話（022-221-2111）で御連絡願います。